

キマダラカミキリの採集および目撃記録

新 家 勝

キマダラカミキリ *Pseudaolethes chrysothrix* Bates は、金毛におおわれ、ビロード状の模様を現わした美しいカミキリである。これまで筆者は本種を1頭、採集したのみであったが、1982年には宝塚市およびその近辺でかなりの個体を見かけた。1982年には、本種が多発したように思われるので、報告する。

1. 1963. 6. 13 西宮市日野町、日野神社境内。

初めての採集品であったので、くもの巣にかかった死骸であったにもかかわらず標本化した。ただし、その後の破損が激しかったので、廃棄した。この採集地は、昭和46年3月に県の文化財「天然記念物」に指定され、保護されており、西宮市内での有数の自然林である。

2. 1982. 5. 28 宝塚市武庫川町、宝塚大橋照明燈。

宝塚大橋照明燈で採集した昆虫として記録するため、標本化し、筆者が保存している。

3. 1982. 5. 30 宝塚市武庫川町、宝塚大橋照明燈。

種の確認だけで標本化しなかった。

4. 1982. 6. 3 宝塚市武庫川町、宝塚大橋照明燈。

前述3同様。

5. 1982. 6. 12 大阪府能勢町上杉、三草山中腹。

クヌギの古木樹皮上を歩行中のものを発見した。

6. 1982. 6. 18 猪名川町槻並、三草山中腹。

前述5同様。

7. 1982. 8. 6 宝塚市南口2丁目、宝塚大橋照明燈。

前述3同様。

ミカンヒゲナガゾウムシ神戸市内に産す
(兵庫県甲虫相資料・125)

高 橋 寿 郎

ミカンヒゲナガゾウムシ *Phloeobius alternanus* Wiedemann, 1816 は Bengal 産で記載された種であり (Zool. Mag., 1(3):172, 1816) 日本からは Sharp が Lewis 採集

の1頭に基いてWalkerがCeylonから *Anthrribius apicalis* として記載された種 (Ann. Nat. Hist. (3) iii, P. 62, 1859) として *Phloeobius apicalis* として記録された (Trans. Ent. Soc. London, 1891:319, 1891), 産地は書いておられないが大変状態の悪い標本で触角も欠くと記されている。割合大きくて仲々はっきりした斑紋を有するヒゲナガゾウムシなのだが余り産地が知られていない。勿論兵庫県からの記録も無かった。1982年7月28日神戸市の烏原貯水池畔柵の柱上に静止している1♂(体長口吻を入れて14mm)を採集したので記録しておきたい。

この様な大形種が今まで県下から知られていなかったことは不思議である。尚本種と同定したのは森本博士の論文によった (Esakia, No 14, P. 6-8, 1979)。

またこの *Phloeobius* 属の日本産ヒゲナガゾウムシは現在この種を含めて4種が知られているが兵庫県下にはセマルヒゲナガゾウムシ *P. gibbosus* Roelof, 1879 を産するだけである。こちらも余り県下での産が知られていない。一応既知産地を記しておく。川西市大和, 笹部 [仲田, 1978], 川辺郡猪名川町三草山麓 (1♂ 5-VII-1980, T. Takahashi leg.), 多紀郡 [鈴木, 1961], 水上郡 [山本, 1958], 城崎郡三川山 [高橋, 1981], 京都, 大阪から記録のある *P. stenus* Jordan, 1923 の方はまだ県下から見つかっていない。他の1種は九州に分布している種である (*P. mimes* Sharp, 1891)。

神戸産珍稀なコガネムシ数種の記録 (兵庫県甲虫相資料・126)

高橋 寿郎

最近須磨区在住の田中正浩氏が神戸市内で採集されたコガネムシ類を持参来宅同定を求められた。拝見した所いづれも神戸産としては珍しいもの否兵庫県下全般にとっても珍しいもの、また中には兵庫県初記録種もふくまれていた。そこでこれ等のコガネムシの記録を此処に発表させて頂き度いと思う。貴重な標本を検査する機会を与えて下さり、発表を赦された田中正浩氏の御好意に対し厚く御礼申しあげる(標本は総て現在田中氏が保管)。

○ チビサクラコガネ *Anomala schönfeldti* Ohaus, 1915

本種はサクラコガネを小型にしたような大変きれいな種である。分布も本州, 九州, 朝鮮が知られていて伊豆諸島にも産する。尚その内の三宅島には亜種 *miyakensis* Nomura, 1967 が知られている。